

Ⅱ 会員団体活動掲示板

<p>団体名称</p>	<p>山綾会</p>
<p>設立目的</p>	<p>「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行う事により、会員の健康増進と相互の親睦を図る事を目的としています。</p> <p>【設立年月日】 1992年 10月 1日</p>
<p>団体情報</p>	<p>【代表者】 山田 正志</p> <p>【会員数】 39名 (2025年 2月 5日現在) 男性 17名 女性 22名</p> <p>【ホームページ】 https://sanryokai.blogspot.com</p>
<p>活動内容</p>	<p>2024年度山行活動は 41回山行計画に対して天候不良の為 7回中止となり、実施は 34回、延べ参加人数 332名となっています。</p> <p>本会もご多分に漏れず、会員減少により C1(参加人数 141名)C2(参加人数 100名)C3(参加人数 57名)厳しい山行の参加者は減少しています。今後は C1 C2 の山行が増える傾向に向かう様です。</p> <p>新しい会員の募集は急務ですが中々思うようには行きませんが、手を尽くして新人を集めたいと考えております。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>春 倉岳山</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>夏 白馬岳</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>秋 三筋山</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>冬 湯河原三山</p> </div> </div> <p>他の活動報告は 11月 16日～20日あやせ文化芸術祭写真部門に 4名参加し、5日間の来場者は 504人でした。参加者の写真タイトルです。</p>



秋の山遊び



「春を待つ岸辺」



「2024年夏」



山装う

11月4日大山クリーンキャンペーン ヤビツ峠コース



スック代わりにトングが大活躍



大山山頂にて

11月4日大山クリーンキャンペーン 蓑毛コース



土に埋まっていた大物ゲット



獲物はそれぞれ袋の中に



追分神社にて獲物を整理して集合写真 解散としました。

連絡先	【担当者】 島田幸一	
	【住 所】	
	【電 話】	
	【F A X】	
	【メール】 kkoge2002@yahoo. co. jp	

団体名称	NPO法人自然塾丹沢ドン会																							
設立目的	<p>丹沢及び山麓の豊かな自然、風土、文化の変容に対して、「登山道等の補修」「伝統風景の保全」「風土が育んだ文化、伝統、芸術の保全」等の事業を、山麓に暮らす人たちとともにを行い、もって健全な社会資産の形成、公益の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1992年3月 (NPO法人認証 2001年9月11日)</p>																							
団体情報	<p>【代表者】 可児康一郎</p> <p>【会員数】 84 家族</p> <p>【ホームページ】 https://donkai.or.jp/</p>																							
活動内容	<p>【棚田での米作りと丹沢自然塾】</p> <p>自然塾は種まきから稲刈り・脱穀まで、名古屋の棚田でお米作りを通して体験。自然の中で行う農業の大変さを知り、先人の深い知恵や工夫を学びます。</p> <p>昨年度は26世帯48名の塾生を迎えて全10回のプログラムを実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="406 801 1321 1344"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月13日</td> <td>開講オリエンテーション+棚田の種蒔き教室</td> </tr> <tr> <td>5月25日</td> <td>棚田の苗取り・田植え教室</td> </tr> <tr> <td>6月22日</td> <td>棚田の草取り・観察教室</td> </tr> <tr> <td>7月13日</td> <td>田んぼの生き物観察教室</td> </tr> <tr> <td>8月17日</td> <td>そばの種蒔き教室</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>棚田の稲刈り教室</td> </tr> <tr> <td>10月5日</td> <td>収穫米の脱穀・精米教室</td> </tr> <tr> <td>11月23日</td> <td>収穫祭</td> </tr> <tr> <td>12月14日</td> <td>新そば手打ち体験教室</td> </tr> <tr> <td>2月15日</td> <td>里山管理教室+自然塾修了式</td> </tr> </tbody> </table> <p>【里山の景観保全と資源循環の仕組みづくり】</p> <p>地主さん・秦野市との3者協定による「ふれあいの森づくり」事業の一翼を荷い、羽根・名古屋の里山の下草刈りや間伐、植樹を実施しました。</p> <p>棚田は収穫後には冬季湛水を行い、水生生物の棲み処を保ちます。周辺の畑地では安心安全な野菜づくり。竹林の間伐材は稲刈り後のはざかけに利用、焼いた炭は田んぼや畑の土壌改良に利用しています。</p> <p>復元棚田での20年以上にわたる米作りと生物多様性保全への貢献、都市と地元を結ぶ自然塾活動を評価いただき8月「棚田学会賞」を受賞しました。</p>		月日	テーマ	4月13日	開講オリエンテーション+棚田の種蒔き教室	5月25日	棚田の苗取り・田植え教室	6月22日	棚田の草取り・観察教室	7月13日	田んぼの生き物観察教室	8月17日	そばの種蒔き教室	9月21日	棚田の稲刈り教室	10月5日	収穫米の脱穀・精米教室	11月23日	収穫祭	12月14日	新そば手打ち体験教室	2月15日	里山管理教室+自然塾修了式
月日	テーマ																							
4月13日	開講オリエンテーション+棚田の種蒔き教室																							
5月25日	棚田の苗取り・田植え教室																							
6月22日	棚田の草取り・観察教室																							
7月13日	田んぼの生き物観察教室																							
8月17日	そばの種蒔き教室																							
9月21日	棚田の稲刈り教室																							
10月5日	収穫米の脱穀・精米教室																							
11月23日	収穫祭																							
12月14日	新そば手打ち体験教室																							
2月15日	里山管理教室+自然塾修了式																							
連絡先	【担当者】 可児康一郎																							
	【住 所】																							
	【電 話】																							
	【F A X】																							
	【メール】 kani516@jcom.zaq.ne.jp																							

団体名称	NPO 法人 みろく山の会	
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する 目的で設立 【設立年月日】1983年4月設立・2000年3月にNPO法人としての認証を受ける	
団体情報	【代表者】北村 理 【会員数】845名（2025.1.1現在） 【ホームページ】 https://npo.mirokuyamanokai.org/	
活動内容	<p>みろく山の会では、会山行を月50～80回、年間800回以上を計画しています。2023年度は、計画回数804回、実施回数660回（実施率82%）、参加者数のべ10,191人の実績でした。</p> <p>山行は190名ほどのリーダーが計画を立て、初心者から経験者まで参加できるように、公園歩き、近郊の低山、アルプス等の縦走、ロングトレイル、クライミング、沢登り、雪山、スキー等を実施しています。また系統だった学習山行にも力を入れて、会員皆が自立した登山者を目指せるように工夫しています。</p> <p>当会の三大大行事としては、総会・清掃登山・みろく祭があります。その中で自然保護活動の一環として実施している「清掃登山活動」は会創設以来継続して取り組んでおります。今年度も5月11日に大倉周辺で12コースを設定して288名が清掃活動に参加いたしました。</p>  <p>また、丹沢大山再生計画の第一期から携わっている大倉尾根の県民協働型登山道補修は、毎月1回10数名の会員の協力で登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行って登山道の保全、登山者の安全確保に努めています。</p> <p>会行事として、今年度も、10月27日に、三浦アルプス16コースを設定し「2024みろく祭り in 三浦」には300名が参加し実施しました。</p> <p>他に、公開活動として一般から募集し「みろく公開登山スクール」を年2回実施し、座学をおこない、実技で、陣馬山山行を計画し、初歩知識や地図読みなど、登山者の技術向上を行いました。</p>	
連絡先	【担当者】岩松美貴子（自然保護部長）	
	【住所】横浜市西区戸部本町41-4 第1暁ビル2F	
	【電話】045-317-2369	
	【FAX】045-317-2365	
	【メール】 miroku.shizenhogo.bu@gmail.com	

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)	
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】 2003年7月5日	
団体情報	【代表者】 皆川康雄 【会員数】 約10名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約170名 【ホームページ】 https://wrv-kanagawa.net/	
活動内容	<p>丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしています</p> <p>※鳥インフルエンザの影響を受け、一部活動できないものもありました</p> <p>①傷病野生動物の救護と野生復帰 ②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市夢見ヶ崎動物公園にて活動 ③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 ④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 ⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 ⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究</p>	
連絡先	【担当者】 皆川康雄	
	【住所】 横浜市神奈川区六角橋 5-17-15 皆川ハイツ 102	
	【電話】 045-548-4744	
	【FAX】 045-548-4745	
	【メール】 kanagawa@wrvj.org	

団体名称	町田グラウス山の会	
設立目的	<p>登山を市民の健全なスポーツ・レクリエーションとして広め、登山の知識技術向上と安全山行を推進するとともに、山岳自然保護活動などを行う。</p> <p>【設立年月日】 1984年1月</p>	
団体情報	<p>【代表者】 松下真治</p> <p>【会員数】 170名</p> <p>【ホームページ】 http://machida-grouse.com/</p>	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丹沢をはじめ、全国各地及び海外での登山活動を、年間約1200回行っている。内容はハイキングを主に、縦走・岩稜縦走、山スキー、沢登り、クライミング、海外登山、スケッチ山行、自然観察山行など多岐にわたり、四季を通じオールラウンドの活動をしている。 ・春秋には、一般市民に対して公開の楽しい山登り講習会を開き、登山の楽しさを知っていただく機会を設けている。 また毎年5月には、障がいを持つ方たちとの交流ハイクが恒例となっている。 ・10月には10日間余りのクリーンハイク期間を設け、会員各自がそれぞれの山行において登山道や周辺の清掃活動を行っている。 	
連絡先	【担当者】 森島真知子	
	【住 所】 東京都町田市山崎町 1356 シーアイハイツ E-902	
	【電 話】 090-3046-9085	
	【F A X】 042-813-3171 -	
	【メール】 ruriboshi_asahi@outlook.jp	

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 17名</p> <p>【ホームページ】 http://www.tes21.org</p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>コロナ禍を経てやや活動が停滞しましたが、2023年度から看板プログラムであるシャワークライミングを、西丹沢ビジターセンターとの共催で再開。2024年度は2回実施することができました。また前年度ではありますが2024年3月には丹沢よろずカフェ（ゲストのお話を聞いて意見交換するミニ講演会）も久しぶりに開催しました。</p> <p>エコツアー以外の活動として、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を2010年度から行っており、丹沢の林床植生の衰退や回復の証拠をとらえることができています。2024年も9月に檜洞丸のつつじ新道で10か所の定点の撮影を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>2010年10月撮影 檜洞丸山頂にて</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2024年9月撮影 林床植生の回復が見られる</p> </div> </div> <p>また地域への貢献として、秦野市郊外の小学校・幼稚園で、水生生物・野生動物調査の出張授業を実施しています。場所はいずれも秦野市上地区にある柳川生きものの里です。</p> <p>幼稚園で2024年5月に実施した「生きものの里調査隊」では、親子を対象にして水生生物を捕獲調査しました。水生生物の採集方法「ガサガサ」のやり方を教え、採れた生物をスタッフが分類したところ、ドジョウ、ホトケドジョウ、アブラハヤ、ツチガエル、サナエトンボのヤゴなどが採集できました。ホトケドジョウが絶滅危惧種であることなどを解説し、この場所にいかに貴重な自然が残っているかを知る体験になったと思います。また捕獲した個体数は記録としており、経年変化を見ていきたいと考えています。</p>



小学校3年生を対象とした「上秦野野生動物調査隊」は、野生動物の痕跡探しをした後で、動物が活動しそうな場所を児童が考え、センサーカメラを仕掛けるという方法で、2016年度から毎年冬に実施しています。

今年度は2025年2月7日～16日に実施し、哺乳類ではシカ、タヌキ、アナグマ、ハクビシンが撮影されました。アナグマは9回目の調査で初めての撮影成功、シカ2頭が毛づくろいしあう映像も衝撃的でした。これら調査結果は、秦野市環境保全課及び市の自然観察施設「くずはの家」にも提供しています。また柳川生きものの里に設置された掲示板に報告写真を掲示しています。



これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。

連絡先

【担当者】小林 昭五

【住所】

【電話】

【FAX】

【メール】

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会	
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成18年10月2日	
団体情報	【代表者】 渡辺 優子 【会員数】 59名 【ホームページ】 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp	
活動内容	<p>基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～6月 ブナの森ギャラリー展示「羽根標本」 ・ 5月 会報誌「RUNNER 37」発行 ・ 6月23日 第17回 特定非営利活動法人野生動物救護の会 定期総会開催 ・ 7月29日 イオンチアーズクラブ活動サポート ・ 9月～1月 環境教育活動 はだのエコスクール 秦野市内の小学校等にて (アカデミーアイ保育園、北小学校、若木保育園) ・ 9月1日 イオンチアーズクラブ壁新聞協力 ・ 9月29日 よこすか動物フェスティバルかながわ 展示参加 ・ 10月20日 動物フェスティバルかながわ in あつぎ 展示参加 ・ 11月3日 秦野市民の日 展示参加 ・ 1月18日 学校法人 長津田学園 ながつた幼稚園 環境教育 ・ 1月25日 2024年度丹沢自然再生活動報告会への展示参加 ・ 2月6～11日 第24回 さがみ自然フォーラム 展示参加 ・ 2月15日 自然発見クラブ 野鳥の巣箱づくり 開催 <p>通年調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足環プロジェクト」 ・ 秦野市立図書館衝突調査 ・ フクロウなどの巣箱調査 ・ 神奈川県自然環境保全センター野外施設及び秦野市での「野生動物痕跡調査」 <p>そのほか羽根標本作成などを行っている また、HP やブログ更新（随時）も行っている</p>	
連絡先	【担当者】 渡辺 優子	
	【住 所】 秦野市戸川 1086-4	
	【電 話】 0463-75-1830	
	【F A X】 0463-75-1830	
	【メール】 wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp	



2024 年度開催 自然発見クラブの様子



環境教育の様子

団体名称	丹沢環境推進会議	
設立目的	神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の自然環境保護保全活動を行う。 2017年4月10日任意団体として設立	
団体情報	【代表者】 小林 昭五 【会員数】 10名 【機関誌】 丹沢環境推進会議だより 年3回発行	
活動内容	(1) 神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の環境保護活動、啓発活動、 (2) 人材育成活動や自然体験活動を行う。12月1日 (3) 丹沢大山地域の環境美化活動を行った。 (4) 丹沢大山地域の環境検定問題づくりを行った。 (5) 目的達成のため他団体と協力連携してボランティア活動を行った。 水質調査、美化活動に協力した。 (6) 丹沢大山自然再生委員会と協力して啓発活動参加 4月21日 丹沢まつり 10月12日、13日 ワールドフェスタ横浜	
		
	↑写真 丹沢まつりの様子 震生湖市木沢の大断層 →写真 葛葉川 体験学習 水音聴き	
連絡先	【担当者】 小林 昭五	
	【住所】	
	【電話】	
	【FAX】	
	【メール】	

Ⅲ 世話人会の活動報告

令和6年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会の活動報告書

1 世話人会の開催

(1) 臨時世話人会

実施日 令和6年4月20日(土)
時 間 15:30~16:00
場 所 自然環境保全センター野外テーブル
出席者 8名
内 容 ① 令和6年度の世話人会活動について
② 報告事項

(2) 第1回

実施日 令和6年6月5日(水) 10:00~12:00
場 所 自然環境保全センターワーキングルーム
出席者 7名
内 容 ① 令和6年度世話人会日程等計画、役割について
② 丹沢ボラネット瓦版の発行、内容、役割分担等
③ 講演会、交流会について
④ その他
・ ボラネット及び世話人会等の方向について
・ 各世話人より報告等

(3) 第2回

実施日 令和6年9月4日(水) 10:00~12:00
場 所 自然環境保全センターワーキングルーム
出席者 6人
内 容 ① 講演会について
② ボラネット会費納入の現状と対策について
③ その他 瓦版119号等について
④ 新規入会団体について

(4) 第3回

実施日 令和6年12月4日(水)
場 所 自然環境保全センターレクチャールーム
出席者 7名
内 容 ① 講演会・交流会の反省について
② 令和7年度の行事事業計画について
③ 世話人の改選について
④ その他

(5) 第4回

- 実施日 令和7年3月5日(水)
場 所 自然環境保全センターワーキングルーム
出席者 5名
内 容 ① 令和7年度事業計画について
② 令和7年度総会に向けて
③ その他

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから世話人会代表が各委員会へ出席

(1) 丹沢の緑を育む集い実行委員会総会

- 日 時 令和6年6月12日(水) 議案提出 6月25日(火)決議
方 法 書面開催
内 容 第1号議案 令和5年度事業報告について
第2号議案 令和5年度決算報告について
第3号議案 令和6年度事業計画について
第4号議案 令和6年度予算について

(2) 丹沢大山自然再生委員会関係

ア 第68回(令和6年度)秦野丹沢まつり

- 日 時 令和6年4月21日(日)
場 所 県立秦野戸川公園・秦野市立西中学校
内 容 丹沢大山自然再生の普及啓発活動

イ 丹沢大山自然再生委員会 第50回幹事会

- 日 時 令和6年5月23日(木)
方 法 オンライン会議
内 容 ① 第25回丹沢大山自然再生委員会総会の資料について
② その他 各専門部会の報告等

ウ 第25回丹沢大山自然再生委員会総会

- 日 時 令和6年6月28日(金) 14:00~16:30
場 所 神奈川県中小企業センタービル14階多目的ホール
内 容 ① 令和5年度事業実績・決算について
② 令和6年度事業計画・予算について
③ 役員、幹事の改選について
④ 各専門部会からの報告
⑤ 令和6年度丹沢大山自然再生活動報告会について
⑥ その他

エ 丹沢大山自然再生委員会 第51回幹事会

日 時 令和6年8月7日(水) 10:00~12:00

方 法 オンライン会議

- 内 容 ① 水源大綱後の取組みに係る意見書について
② 2024年度丹沢大山自然再生活動報告会について
③ 第4期丹沢大山自然再生計画におけるモデル流域の設定等について
④ 調査・研究助成金事業の応募状況と審査
⑤ その他

オ 県民事業専門部会 第39回普及啓発検討チーム

日 時 令和6年9月5日(木) 10:00~12:00

場 所 県民センター304会議室

- 内 容 令和6年度秦野丹沢まつりへの出店結果について
ワールドフェスタ横浜2024等への取組みについて
副読本「私たちの暮らしと丹沢」の改訂について

カ ワールドフェスタ2024横浜

日 時 令和6年10月12日(土) 13日(日)

場 所 横浜山下公園

- 内 容 丹沢大山自然再生の普及啓発活動

キ 2024年度丹沢大山自然再生活動報告会

日 時 令和7年1月25日(土) 13:30~16:00

場 所 横浜情報保健福祉センター3階 多目的ホール等

- 内 容 第1部 活動・研究報告
第2部 シンポジウム 基調講演 総合討論

ク 丹沢大山自然再生委員会第46回幹事会

日 時 令和7年3月7日(金) 9:00~12:00

方 法 オンライン会議

- 内 容 ① 第26回再生委員会総会の開催について
② 令和7年度県民部会の共催・後援イベントについて
③ 令和7年度の丹沢大山自然再生活動報告会について
④ 令和7年度行事予定について
⑤ その他
総会までの予算執行について

ケ 県民事業専門部会 第38回普及啓発検討チーム

日 時 令和7年3月24日（月）9:30～12:30

場 所 かながわ県民センター

内 容 ① 第69回秦野丹沢まつり関係への取り組み
② 令和7年度イベントへの参加について
③ その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

3 2年間続けて総会への欠席及び会費の未納入があった会員は、当該年度末をもって退会とする。

4 前項により退会した団体が、再度入会を希望する場合は、再入会時に未納分の会費を納付するものとする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、10名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表2名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

- 第7条 総会は、世話人会代表が召集する。
- 2 総会は、年1回以上開催する。
 - 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
 - 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

- 第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

- 第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

- 第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。
- 2 会計担当者を2名以内置く。
 - 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
 - 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

- 第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。
 - 5 この会則は、平成31年4月20日から施行する。
 - 6 この会則は、令和6年4月20日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
〃 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
〃 電話
〃 ファックス
〃 E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	<input type="checkbox"/> あり (名称:) <input type="checkbox"/> なし
ホームページ	<input type="checkbox"/> あり (アドレス:) <input type="checkbox"/> なし
保全活動に関するキーワード	<input type="checkbox"/> 美化活動 <input type="checkbox"/> 植樹、森林の育成 <input type="checkbox"/> 調査 (内容:) <input type="checkbox"/> 普及啓発 (内容:) <input type="checkbox"/> その他 (内容:)
活動の概要	主な活動地域 ()
自由記載欄	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> E-mail

- 注 1 該当する□にチェックをしてください。
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
〃 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323